



株主・投資家の皆様へ

2014年 3月期 | No.47



2014年5月8日に行った新CEO就任記者会見

- 01** CEOメッセージ  
イノベーションを繰り返し、時代の「その先」を創造する
- 03** 50周年を迎えて  
当期純利益の推移と事業の拡大・隣へそのまた隣へ
- 07** 特別対談「潮流」  
横山禎徳×宮内義彦
- 13** オリックスReview  
業績推移・セグメント情報
- 17** おしえて！オリックスVol.7  
注力事業の一つ 個人向けカーリース
- 19** 世界に広がるオリックスグループ  
ORIX Americas ～米国だけではなく、「米州のオリックス」を目指して
- 20** キーパーソンが語る「未来を創るオリックス」  
オリックス初めての女性役員「女性管理職の働きがいと共有していきたい」
- 21** 企業情報 裏表紙 オリックス・バファローズ ニュース



50<sup>th</sup>  
Anniversary

証券コード:8591



## イノベーションを繰り返し、 時代の「その先」を創造する

オリックスは、2014年4月17日をもちまして、おかげさまで創立50周年を迎えました。これはひとえに、株主をはじめとするステークホルダーの皆様からの多大なるご支援の賜物であり、心より御礼申し上げます。

私たちはすでに、新たな50年、そしてその先へ向かって走り出しています。この50年で培ったDNAをさらに進化させ、時代の先を見すえてイノベーションを繰り返しながら新しい価値を創造してまいります。金融やサービスを通じて新しいマーケットを創り出し、経済に活力をもたらすこと、社会に貢献することが、オリックスの存在意義であると考えています。

ステークホルダーの皆様の高い期待に応えられるよう、より良い会社を目指してオリックスのすべての社員と共に努力を続けていきたいと思っております。今後も企業価値の一層の向上を実現していくことを主眼とした経営を行い、国際性、社会性を持ち合わせたグローバル企業グループになることを目標としてまいります。

取締役 兼 代表執行役社長・グループCEO

井上亮

# 50周年を迎えて 当期純利益の推移と事業の拡大

オリックスは1964年にリース会社としてスタートしました。以来、お客様の多様化するニーズや経済環境の変化に対応しながら、チャレンジとイノベーションを積み重ねてきました。

この50年間、オリックスの事業ポートフォリオは進化を続けており、事業領域が拡大し、グローバル展開も進んでいます。

また、幾度となく経済危機に見舞われましたが、創業翌年から一度も赤字に陥ることなく、利益を計上し続けており、2015年3月期は過去最高益の2,100億円を目指します。

次の50年、そしてその先へ向かって、さらなる新しい価値の創造にチャレンジし、ポートフォリオを進化させていきます。

「ほかにはないアンサーを。」オリックスの50年

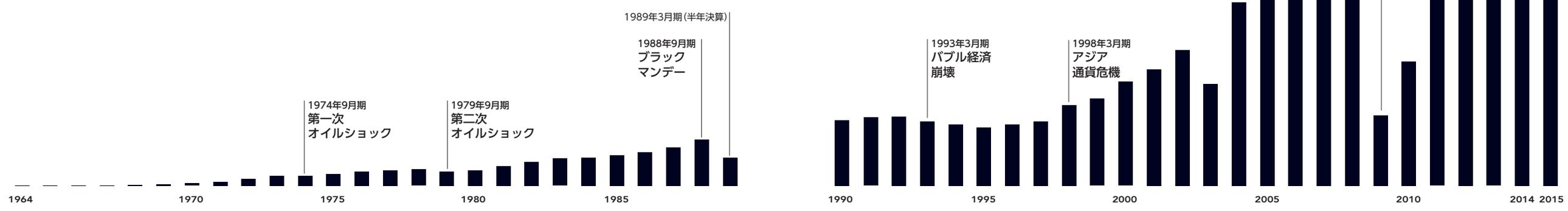


- »1964**  
 オリエント・リース(現オリックス株)設立  
 新しい金融手法の「リース」を日本に導入
- »1972**  
 シンガポール現地法人設立  
 現地金融機関と同国初のリース会社を設立
- »1973**  
 東証・大証 市場第一部上場  
 大証 市場二部上場の3年後に指定替え
- »1973**  
 オリエント・オート・リース(現オリックス自動車株)設立  
 従来のオートリースに加えて車両管理サービス提供へ
- »1985**  
 日本初のレバレッジド・リースを組成  
 仕組み作りと投資家開拓に奔走
- »1986**  
 パキスタン現地法人設立  
 中東地域に初進出、以降パキスタンを起点に中東進出を拡大
- »1989**  
 「オリックス」へ社名変更  
 前年に球団も買収し知名度が飛躍的に向上



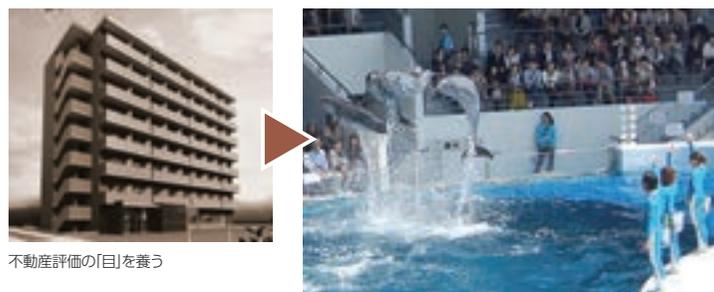
- »1991**  
 オリックス・オマハ生命保険(現オリックス生命保険株)設立  
 シンプルでお手頃な保険商品の提供へ
- »1995**  
 風力発電事業への投資  
 環境エネルギー分野進出の第一歩
- »1998**  
 ニューヨーク証券取引所上場  
 コーポレート・ガバナンスを一層強化
- »2002**  
 大分県の杉乃井ホテルに投資  
 施設運営事業の拡大へ
- »2006**  
 米国の投資銀行Houlihan Lokey買収  
 投資アドバイザー事業の専門性を獲得
- »2013**  
 オランダのロベコグループ買収  
 アセットマネジメントの専門性獲得で「金融+サービス」を加速化
- »2014**  
 創立50周年  
 さらなる新しい価値の創造に挑戦

2015年3月期目標  
**2,100**億円  
2014年3月期  
**1,868**億円



「リース」からスタートしたオリックスの専門性は、事業の拡大とともにその幅が広がっています。既存の事業から獲得した専門性をここに、新たな事業領域の拡大にチャレンジを続けています。

### 不動産担保融資から施設運営事業へ



不動産評価の「目」を養う

水族館の運営を開始

リースで培った金融の専門性を発展させ、1970年代に不動産を担保とする融資事業を開始しました。1986年からは独身寮賃貸事業、1993年からはマンション分譲事業を開始し、現在ではオフィスビル、物流倉庫、商業施設など多種多様な物件の開発・賃貸を手がけています。2000年代には旅館・ホテルの再生を支援する形で運営事業に参入し、現在ではホテル・旅館、水族館、ゴルフ場、有料老人ホームなどの運営を手がけています。

### 自動車リースから安全管



マイカーリースの営業活動

当初は、資金調達やコスト削減でしたが、その後お客様のニーズに合わせ、その後のお客様のニーズに合わせたサービスを進め、変化してきました。例えば「テレ両1台ずつに取り付けられた機し、危険運転の改善、交通事故のメンツの実現を支援しています。

### 理のコンサルティングへ



運行・安全管理に活用できるサービスの提供

手段としてのリース活用が中心では業務のアウトソーシングやニーズに合わせてサービスを進マティクス(e-テレマ)では、車器が発信する運転データを解析削減など、お客様のリスクマネジ

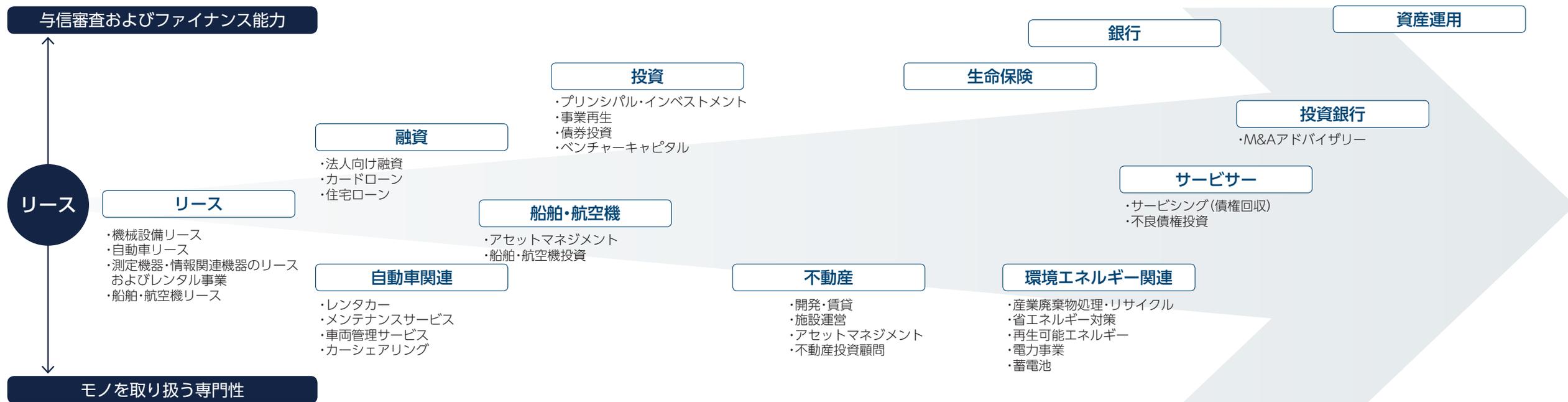
### エネルギー事業への投融資からメガソーラーの運営へ



LNG燃料転換ESCO事業で省エネルギーの支援

メガソーラー事業へと発展

1995年、風力発電事業への投資を皮切りに、2000年にはお客様の省エネルギーを実現するため、省エネルギー機器の設置やメンテナンス、コンサルティングなどを包括的に行うESCOサービスをスタートしました。その後も電力の卸売りや小売事業にいち早く取り組み、現在では、大規模太陽光発電所(メガソーラー)をはじめ、バイオマスや地熱など、再生可能エネルギー事業を推進しています。



## 50周年を迎え、 新しい船出へ――。

### 横山禎徳

東京大学特任教授・東大エグゼクティブ・マネジメント・  
プログラム企画・推進担当  
社会システム・アーキテクト

### 宮内義彦

オリックス シニア・チェアマン

50年を迎えたオリックスの節目の対談には、ビジュ  
余年にわたりオリックスの経営に対し助言を続け  
引してきたオリックスらしさ」と「さらなる成長に

**宮内** オリックスは、早くから外部に知恵を求め  
ながら経営してきました。初めて横山さん  
にお会いしたのは20年ほど前。その後、ガ  
バナンスの強化を考え、諮問委員会を作り、  
本格的に委員会設置会社に移行しまし  
たが、その当初からご協力いただきました。そ  
ういう意味では、横山さんは社外の識者  
の中で最もオリックスのことを知っていな  
ければならない人になってしまった(笑)。

**横山** 確かに長きにわたり、オリックスの成長に  
立ち会わせていただきました。中でも「人と  
同じことをしない」「ひと味違うことをやり  
たい」という意志を感じてきたことは非常  
に印象深いです。オリックスは、ノンバンク  
という業種にくられることが多いのです  
が、実は宮内さん、この言葉、非常にお嫌い  
ですよね。けれど、この言葉自体、定義がな

ネスパートナー、諮問委員、社外取締役として、20  
てきた横山禎徳顧問を迎え、「これまでの成長を牽  
向けた期待と課題」について大いに語り合った。

いんですね。だから逆に何でもできるじゃ  
ないか、と自由に事業を拡大してきたので  
はないでしょうか。

**宮内** そんなに奇をてらってきたわけではない  
ですよ。当社はリースからスタートしまし  
た。リース市場というのは、非常に小さ  
なマーケットです。小さなマーケットでビ  
ジネスをしていると隣の芝生が青く見え  
るので、勉強して進出する。その繰り返し  
です。辿り着いたマーケットが大きけれ  
ば、そこで少しはゆっくりできるの  
でしょうが、隣もそう大きくはないので、またど  
こかにいなくては、と。ですから常に  
変化することが普通だと、みんなが思  
うようになっていった。そうして結果  
的に会社が伸びてきた、というのがこれ  
までの姿です。

## PROFILE

よこやましのり  
横山禎徳氏

東京とニューヨークで建築設計に従事後、マッキンゼー・アンド・カンパニー入社。元ディレクター・東京支社長。その後、独立行政法人経済産業研究所（上席研究員）等を経て、「社会システム・デザイン」という分野の確立、発展に向けて活動。東京大学特任教授として東大エグゼクティブ・マネジメント・プログラム（EMP）の企画・推進のほか、オリックスの顧問、オリックス生命、三井住友フィナンシャルグループ、三井住友銀行の社外取締役なども兼務している。



## 世の中はパラドクス。大胆な行動で成功している人や組織は、極めて細心である。

**横山** よくオリックスは「大胆な会社だ」と言われるけれど、実際は大胆なだけではなく、慎重な会社でもあります。世の中はパラドクスであり、大胆な行動で成功している人や組織は、極めて細心に繰り返し考えた上で決断しています。オリックスや宮内さんに関して、世間はそれを理解していませんね。何かアメリカ的な経営だとか、ね。

**宮内** アメリカ的(笑)。

**横山** すぐに一つの言葉でくくろうとするけれど、それでは断片しか捉えられない。本来は「大胆かつ細心」とか「厳しく温かい」とか、常にバランスしているもので、この考え方がオリックスの基本的な経営の中にあります。ただ、常にバランスしていたら物事は動かない。大胆に事を進めることもさっと転換す

ることも、どちらも必要です。バブル崩壊後、「オリックスはうまく抜けましたね」と質問された時の答えを覚えておられますか。

**宮内** どう表現したかは忘れてましたが、当時、不動産担保融資においては後発で慎重だったこともあり、「これは変だぞ」と割と早くに違和感を察知して、早期に撤退したと申し上げたような気がします。やはり会社が小さくて脆弱だという意識があるので、怖がりなんです。万が一、おかしくなったら大変だ、と。クイックアクションをとれたのはよかったですね。その半年、1年の差はもう致命的でしたから。

**横山** 時価ベースの米国会計基準を導入していたことも、その後の対応が早く進んだ要因の一つですね。

**宮内** 設立の際、アメリカの会社がパートナーで入ったのですが、彼らは、米国の大手会計事務所を使うこと、米国と日本の規則に則った会計を二重に行うことを私たちに求めました。資本金1億円で13名の会社に何を言うんだと思いましたが、極めて強い要求だったので受け入れました。後で考えれば、設立当初から経営指標のすべてを米国会計で見てきたことが会社を伸ばしたともいえますね。

**横山** 設立当初から米国会計基準を採用している日本企業は少ないでしょうね。

**宮内** そうですね。それからもう一つ、銀行や商社の子会社として誕生しましたが、独立した経営をしてきたこともプラスでした。独立というと格好いいけれど、「何か間違ったら会社は潰れる」という危機感と隣り合

わせの経営です。冗談ではなく、今でもそう思っています。潰しちゃいかんというのが第一であって、潰れないのであれば伸ばそうというのがその次。この一番と二番を間違うと大変なことになりますが、時々、間違えそうになる。他の経営メンバーや社外取締役の意見を聞いて、コーポレート・ガバナンスを効かせながら、日々愚直に見直すことしか、回避の道はありません。

**横山** 本当の怖さを知っていることで、その順番を間違えないという意志も知恵も働くし、細心にもなるからこそ、大胆さが生まれる。企業は、即物的に言うと「利益を生むマシン」のようなもので、ほとんどの人はそのマシンがあることを前提に入社してきます。自分でマシンを作る意識はなく、油を注し

## 潰しちゃいかんが第一、成長させようはその次。順番を間違っははいけない。



## 次の50年に向け、極めて元気に 出航できる喜びをさらなる成長につなぐ

たり、分解して掃除したり、生産性を高めるために回転数をあげたりする程度。しかし、マシンには寿命がある。いざ寿命を迎えた時に別のマシンを作ろうとしても、従来のマシンのオペレーターだった人には作れません。ですから、常にマシン、つまり新しいプロフィット・エンジンを作り続けていないと会社の成長は維持できないという感覚が非常に大事です。オリックスには、その意識、文化がしっかり根付いているように感じますね。

**宮内** これからは「シニア・チェアマン」という新しい立場でオリックスの経営を支えていきたいと思っています。実は、この役職名は横山さんが名付け親です。

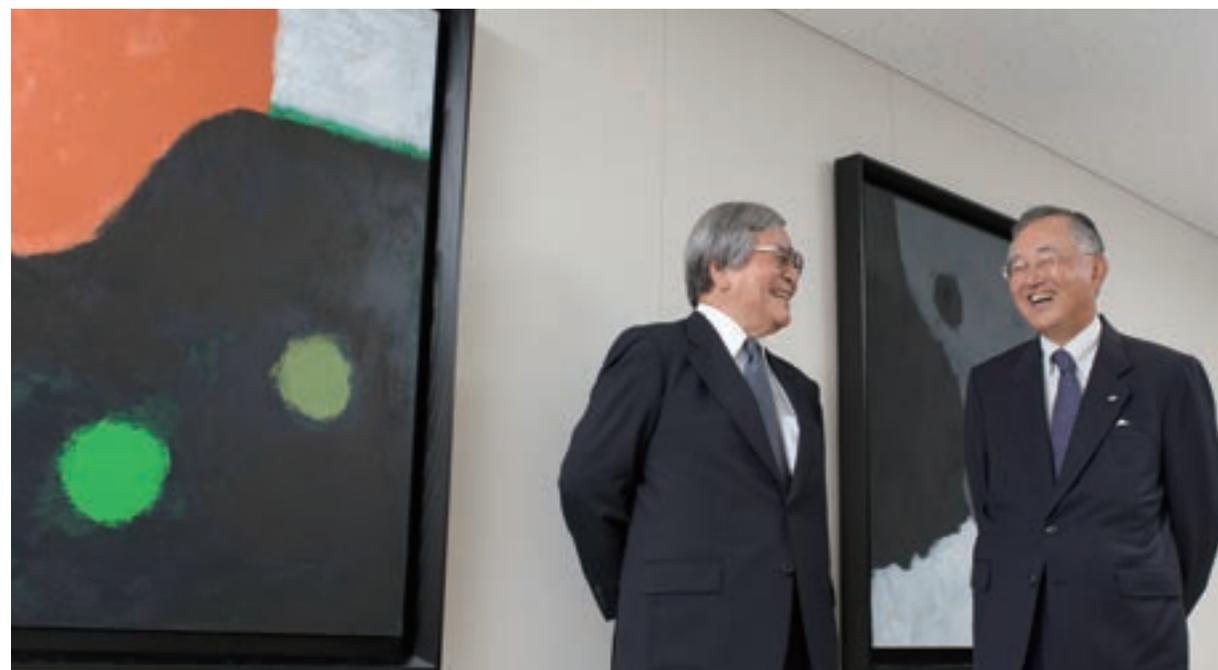
**横山** シニアな立場は非常に重要です。おばあちゃんの知恵袋が今でも重宝されるように、経験に裏付けされた権威とでも言えますか。権限とは関係なく、若い経営者が増えるほど、補完関係となるシニアのポジションは、さらに重要になると思います。加えて、ジェロントロジー（老年学）の研究によると、近年の高齢者の身体能力は10年前の高齢者より11歳若く、一方、知的な能力は個人差はありますが、衰えずに、訓練次第で伸び続けていく、と。ですから、超高齢化時代は年齢不詳化時代と言い換えた方がいい。Agelessではなく、Age blind。

**宮内** 確かに自分の判断力は、昔に比べたら、今が抜群だと思っています。そうした中でゆとりを持ってバトンタッチして、小言幸兵

衛に変わる、というのが一番楽しいのではないかと（笑）。CEOには、会社を引っ張っていく役割が課せられていますが、そこから外れ、シニア・チェアマンとしてオリックスの将来にプラスになることが何でもできると考えると楽しくて仕方ない。やりたいことはたくさんあります。

**横山** 好奇心があることがAge blindにつながるんでしょうね。企業経営とは本来、非常に人間臭いもので、規則とか法律とは関係ない部分での人とのつながりが大事です。けれど非常に時間がかかる話でもあり、CEOという立場では、到底対応しきれない。ですから宮内さんには、これからそれを伸びやかにやってほしいです。今後はますますグローバル化が進み、リスクも増え、すべてのことが「相互連鎖」し、思いもよらぬところから影響を受けてしまう、非常に分かりにくい時代になっていきますからね。

**宮内** 井上CEOをはじめ、現在のマネジメント陣は、私が知りうる限り、もっとも良いチームです。ネットワークも、財務内容も過去に比べて圧倒的に強く、これまでの50年の中で、もっとも安定しています。どの企業も予測不可能なことに遭遇するリスクはあり、絶対的に強い会社は作れません。しかし、常に相対的に強い会社を目指していけば、サバイバルは可能です。何らかの危機の際には、少しベクトルを変えたり、やり方を見直す必要も出てくるでしょう。そうしたことを見定めながら助言することも、私の新



しい仕事になるだろうと考えています。

**横山** 現在のオリックスは、社会性に対する意識も高まっていますね。

**宮内** 企業は大きくなるほど、社会的要請に応えるべきであり、社会の目も厳しくなります。オリックスも、自分が生きることで精一杯、とにかく世の中に存在を認めてもらいたい、というステージは終わり、違った局面に入りました。そして資本主義に対する疑義が高まる中で、周囲を見ながら企業活動全体のベクトルを変えていく必要も出てくる。これは、従来の経営者には必要のなかったベクトルであり、新たなリスクです。

**横山** そういう意味でも、新しい視点を持ち、経営に反映させることが必要になってくる。

**宮内** そう。CEOがそれを考えているわけにはいかない。そこで、シニア・チェアマンが役に立ちたいですね。（笑）。

**横山** CSR（企業の社会的責任）という言葉が流行って久しいですが、そもそもCSRは、企

業経営の一部であり、まさに経営と一体です。企業ごとに期待される経営は異なりますが、そういう意味では、「また何か社会にインパクトのある新しいことをやってくれるのではないか」というのがオリックスに対する期待です。あんまり堅苦しくなく、いつまでも独特の会社であってほしいなと思います。

**宮内** 今のオリックスの力を鑑みると、本当にいろいろなことができる状況にあり、やりたいことは山のようにある。すべてができるとは限りませんが、そういう立場にある企業は必ずしも多くはありませんから、次の50年に向かい、極めて元気よく出航できることは、非常に幸せだと思います。これからは新たな立場で、これまでの経験を還元するとともに、新しい形で会社に貢献していきたいと思っています。引き続き、ご支援いただけますと幸いです。

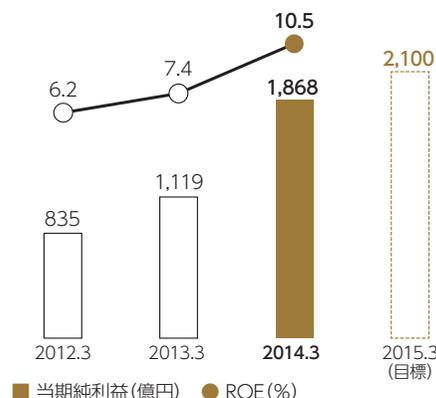
業績推移

金融危機以降、5期連続の増益を果たしました。2015年3月期の当期純利益は12%成長の2,100億円を目標とし、過去最高益の更新を目指します。

2014年3月期のポイント

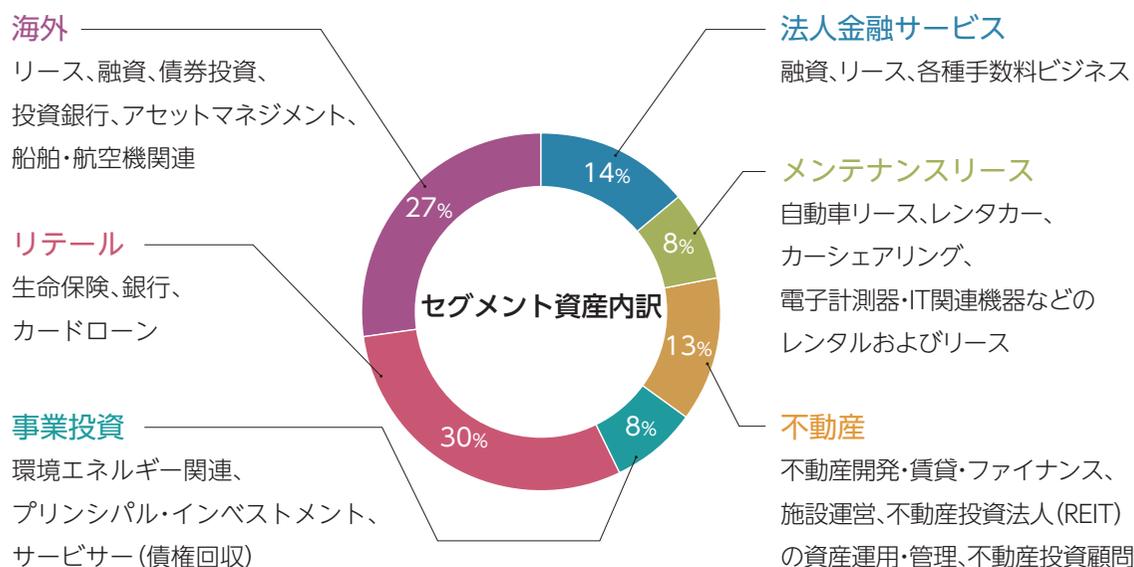
- ▶ 当期純利益1,868億円(前期比67%増)
- ▶ ROE10%を計画より2年前倒しで達成
- ▶ 1株あたり配当金を13円\*から23円へ増配

\*2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。過年度の配当金についてはそれを考慮して記載しています。



セグメント概要

それぞれの事業が独自の強みを最大限に発揮し、相乗効果を生み出しています。



今後の成長戦略

持続的な二桁の利益成長とROE10%の安定的な実現を目指します。

「金融+サービス」の 加速化	アジア等新興国の 成長を取り込む	中期的な成長に向けた 新機軸の確立
-------------------	---------------------	----------------------

セグメント情報

法人金融サービス 事業部門



2014年3月期のポイント

- 営業貸付金の平均残高減少により貸付金収益が減少したが、手数料収益や貸し倒れ引当金繰入が良好し、セグメント利益は前期比4%減にとどまる。

2015年3月期の事業戦略

- グループ内の連携強化による顧客基盤の拡充
- 小口優良資産の積み上げ
- 環境エネルギー関連ニーズ等の取り込みによる手数料拡大

セグメント別業績		
セグメント利益	249億円	前期比 4%減
セグメント資産	9,921億円	前期比 5%増

メンテナンスリース 事業部門



2014年3月期のポイント

- 高付加価値サービスの提供により、収益は高水準で安定推移。また、自動車事業の資産増加と中古車売却益の増加により、セグメント利益は前期比6%増。

2015年3月期の事業戦略

- グループ横断的な営業活動の継続
- 高付加価値サービスの拡大
- さらなるシェア拡大と新規マーケットの開拓

セグメント別業績		
セグメント利益	371億円	前期比 6%増
セグメント資産	6,220億円	前期比 13%増

不動産 事業部門



2014年3月期のポイント

- ゴルフ場やホテルなどの運営事業は堅調に推移。マーケットの好況を背景に賃貸不動産の売却益が増加し、セグメント利益は大幅増。

2015年3月期の事業戦略

- 良好な環境を捉えた資産の入れ替え、共同投資の推進
- 運営事業の強化
- アセットマネジメント業務の強化による手数料ビジネスの拡大

セグメント別業績		
セグメント利益	180億円	前期比 222%増
セグメント資産	9,624億円	前期比 15%減

## 2014年3月期 下半期の事業活動トピックス

### 電力小売、中部エリアへ進出

4月より、電力小売サービスの対象エリアを拡大し、中部電力の送電エリア内(愛知県・三重県・岐阜県・静岡県・長野県)で営業を開始しました。オリックスは、新電力(特定規模電気事業者\*)として、2009年より電力小売事業を開始し、主に店舗やオフィスビルなどの高圧業務用の事業所を対象に割安な電力を供給しています。現在は、中部電力ほか、東京電力、関西電力、中国電力管内でサービスをご提供しています。

\*契約電力が50kW以上の需要家に対して、電力会社などの一般電気事業者が持つ送電線を通じて電力供給を行う事業者。



### 株式会社大京を連結子会社へ

大京グループは、2005年3月オリックスとの資本提携以降、マンション開発事業等のフロー事業主体のビジネスモデルから、マンション管理・流通事業等のストック事業とのバランスの取れたビジネスモデルへの転換、ならびに安定した収益構造の構築を進めてきました。今回、オリックスが保有する優先株を普通株へ転換し連結子会社化することにより、リテール関連事業や環境エネルギー事業等の分野における事業連携・協業を、より一層推進していきます。



### ベトナムの製薬卸・薬局チェーン大手に投資

株式会社ドリームインキュベータと共同で運用する「DIアジア産業ファンド」において、Santedo Corporation(以下「Santedo」)の株式の約25%を取得しました。Santedo傘下のDuy Tan社はベトナム国内の病院や薬局への幅広い流通ネットワークを構築しています。今後、Santedoと日系製薬メーカーやドラッグストアなどの提携を検討し、さらなる企業価値の向上を図っていく方針です。



### カンボジア最大手 ACLEDA銀行の株式6%を取得し、資本参加

ACLEDAは、カンボジア国内全域に238カ所の営業拠点を設け、中小零細企業向けファイナンス事業を中心に強固な顧客基盤を有しています。また、2008年にはラオスに銀行を、2012年にはミャンマーにマイクロファイナンス会社を設立し、事業領域の拡大を図っています。オリックスは、これまでに日本やアジアで培ってきた金融サービス事業のノウハウをもとに、ACLEDAの新規事業展開や企業価値向上に貢献していくとともに、ACLEDAをビジネスパートナーとして新規投資案件の発掘などを図ってまいります。



## セグメント情報

### 事業投資 事業部門

#### 2014年3月期のポイント

- 前期に買収した投資先からの収益が増加し、大京の連結子会社化に伴う株式評価益を計上したことにより、セグメント利益は大幅増。また、環境エネルギー関連企業への新たな投資も行った。

#### 2015年3月期の事業戦略

- 環境エネルギー分野の投資拡大、メガソーラー等の事業運営の推進
- 国内外における事業投資の拡大
- サービスの高い専門性を活用した新たな収益機会の追求



セグメント別業績		
セグメント利益	941億円	前期比 169%増
セグメント資産	5,657億円	前期比 27%増

### リテール 事業部門

#### 2014年3月期のポイント

- 銀行事業の住宅ローン残高や生命保険事業の契約増により資産が増加。特に、生命保険事業は、保険料収入に加え運用収益が順調に伸長し、セグメント利益は15%増。

#### 2015年3月期の事業戦略

- 生命保険事業における、特長ある新商品の開発と販売チャネルの拡大
- オリックス銀行とオリックス・クレジットの一体運営によるカードローン事業の拡大



セグメント別業績		
セグメント利益	499億円	前期比 15%増
セグメント資産	21,670億円	前期比 9%増

### 海外 事業部門

#### 2014年3月期のポイント

- ロベコの連結子会社化に伴う収益およびアジアのリースや航空機のオペレーティング・リース収益が増加。また、米州の手数料事業も堅調に推移し、セグメント利益は32%増。

#### 2015年3月期の事業戦略

- 米州における、高い専門性に基づく「金融+サービス」の継続的な強化
- アジアを中心としたリース事業および新規投資の拡大
- 船舶・航空機事業における優良な資産の積み上げ
- ロベコの運用資産拡大



セグメント別業績		
セグメント利益	697億円	前期比 32%増
セグメント資産	19,721億円	前期比 50%増

# 注力事業の一つ 個人向けカーリース

オリックス自動車は、リースやレンタカー、カーシェアリングなどクルマの「保有から利用への転換」を中心に、車両の維持・管理、そして中古車の流通まで幅広く事業を展開しています。個人向けカーリース事業は1984年にスタートし、2004年に新車を2年で自由に乗り換え・返却できる「いまのりくん」、2008年には契約終了時にクルマを自分のモノにできる「いまのりセブン」、そして今年5月に「いまのりナイン」の販売を開始しました。2013年の日本の自動車登録台数は約7900万台<sup>※1</sup>あり、そのうち個人は約2/3(5900万台)を占めます(オリックス自動車推定)。しかし、リースの利用率は約0.2%(約14万台<sup>※1</sup>)と非常に低く、まだまだ開拓余地が大きいと考え、個人向けカーリースに注力しています。

2013年3月末における乗用車の平均車齢は8.07年<sup>※2</sup>と、統計以来初めて8年を超えました。2013年度<sup>※3</sup>のオリックス自動車の個人向けカーリース申込実績においても契約期間が7年の「いまのりセブン」が半分以上を占めています。また、クルマを保有しない理由の上位が「経済的要因」<sup>※4</sup>であることから、使用期間に合わせた契約年数で月々の支払を安く抑えることで、多くの方がより手軽に新車に乗れるようになると考え、2014年5月に契約期間9年の「いまのりナイン」を発売しました。お電話はもちろん、インターネットでお見積りをご覧ください、そのままお申し込みが可能です。

今回は、意外と知られていないカーリースの仕組みやメリットをご紹介します。

※1 一般社団法人自動車リース協会連合会の発表による。 ※2 自動車検査登録情報協会の統計による。  
 ※3 2013年4月1日～2014年3月31日までの期間。 ※4 日本自動車工業会の発表による。

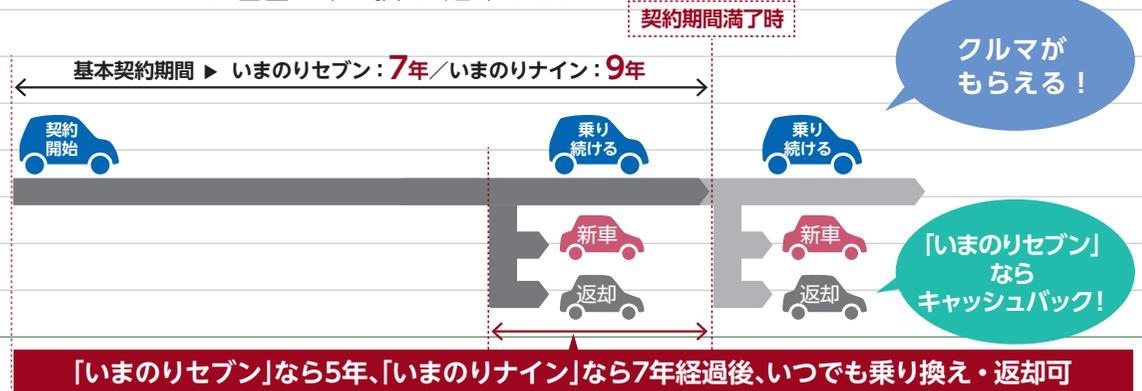
## 「いまのりセブン」と「いまのりナイン」の特長<sup>※5</sup>

### 1 契約期間が終了したら、クルマがもらえる

「いまのりセブン」は7年、「いまのりナイン」は9年の契約満了後には、返却か譲り受けを選べます。譲り受けの場合、そのまま自分の車として乗ることが可能です。

### 2 契約期間途中で、「乗り換え」「返却」できる

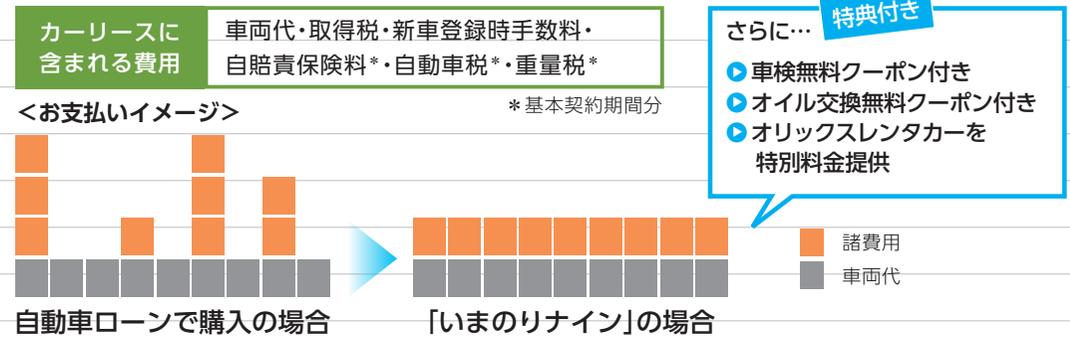
契約期間満了前でも、一定期間を過ぎるとライフスタイルの変化などに応じて、自由に乗り換え、返却できます。



株主優待対象商品です。  
 詳しくは別冊の「株主優待のご案内」P8をご覧ください。

### 3 諸費用コミコミで月々定額払い

新車を現金で購入する際は、車両代だけでなく、取得税や登録にかかる費用、毎年の自動車税や車検費用など、忘れがちな費用もかかってきます。オリックスのカーリースなら車両代、諸費用もコミコミで均等払いなので、まとまったお金が必要なく、お支払いもラクラクです。



### 4 国産全メーカーから選択できる

国産全メーカーの中から、乗りたい新車を選ぶことができます。もちろん全てのグレード、カラー、オプションから選べるので、好きな新車に乗ることができます。



こんな方にオススメ!

- ✓ 5年以上、同じクルマに乗り続ける
- ✓ 月々の支払をできるだけ抑えて新車に乗りたい
- ✓ 面倒な手続きは誰かに任せたい

パファローブル ©ORIX Buffaloes パファローブル

オリックス自動車は、お客様の利用シーンに合わせて最適なサービスをお選びいただけるよう「リース」「レンタカー」「カーシェアリング」サービスを提供しています。詳しくはこちら。

オリックス自動車 個人 検索  
<https://www.orix.co.jp/auto/kojin/>

※5 「いまのりセブン」「いまのりナイン」のご利用には一定の条件がございます。詳細はウェブサイトをご確認ください。

## ORIX Americas ~米国だけではなく、 「米州のオリックス」を目指して

オリックスグループの海外現地法人から、事業活動をはじめ、さまざまな情報をお届けします。今回は、ORIX USA Corporation(OUC)に新しく就任したブライアン・プリンスCEOから株主の皆様へのメッセージです。



ブライアン・プリンス  
CEO, ORIX USA Corporation

OUCは、1981年の設立以降、常に時代のニーズや市場の変化に応じて業態を進化させながら事業を展開してきました。現在は、テキサス州ダラス市に本社を置き、米国の優良中堅企業向けファイナンス、公共事業債(レベニュー債)投資などを行っています。また、M&Aアドバイザー事業や、サービシング事業、資産管理・運用事業など専門性の高い企業をグループに加え、特に手数料ビジネスを重点戦略事業と位置づけ展開しています。今後とも専門性の生かせる分野で事業を拡大していきたいと考えています。

私は、昨年あおぞら銀行の会長を退任し、今年2月にOUCのCEOに就任いたしました。日米での金

融事業の経営経験を踏まえ、OUCを次のステージへ導き、オリックスグループのこれからの50年の発展に貢献することが自分の役目であると認識しています。今後は、米国のみこだわらず、さらにダイナミックな「米州のオリックス」を目指し、新しい事業コンセプトとして“ORIX Americas”を掲げ、これを実践しています。2012年に新設したブラジル/サンパウロの拠点を足掛かりに、中南米の市場を北米と一体的に捉えていくことで新しいビジネスチャンスを生み出すと考えています。グループの経営戦略である「金融+サービス」を米州に広げ、オリックスのプレゼンスを高めることで、より収益に貢献していきたいと思っています。



OUCマネジメントチーム

### ダラス ひとくち 情報

ダラス・フォートワース首都圏は、周辺の12カウンティ(郡)から構成され人口はおよそ670万人、その中心となるダラス市は約124万人と全米で9位の規模を誇っています。また、野球のテキサスレンジャーズをはじめ、アメリカンフットボール、アイスホッケー、バスケットボール、サッカーなど5大競技全てのプロスポーツチームを有し、ゴルフ場の数は200コース以上あると言われています。

## オリックス初めての女性役員 「女性管理職の働きがいを共有していきたい」

オリックス 執行役  
グループコンプライアンス部、グループ監査部管掌  
山科 裕子

やましな・ひろこ。1986年オリエント・リース(現オリックス)入社、2007年内部統制統括室長、2010年オリックス生命保険執行役員、2013年同社常務執行役員を経て、2014年1月より現職。グループコンプライアンス部およびグループ監査部管掌



### 自由な社風に魅力を感じ、オリックスへ入社

私がオリックスに入社したのは、男女雇用機会均等法が成立した翌年の1986年。女性総合職の募集はまだまだ少ない時代でしたが、日本経済を牽引していく金融や不動産の業界でダイナミックな仕事をしたいと考えていました。会社説明会で女性の営業担当が自分の仕事について熱心に語る姿を見て、この会社なら女性でも仕事を任せてもらえそうだと思えたことが入社理由です。

### 社員のチャレンジを尊重する社風

いろいろな部門で異なるバックグラウンドや経験をもつ方々と仕事をしてきましたが、オリックスはいつも新しいことへの挑戦を尊重してくれます。30歳前でしたが、仕事を続けていくには

専門性を深め社外の仲間を増やすことが重要だと痛感し、社会人大学院で企業法学を学びました。平日の夜の通学でしたが、上司が快く応援してくれたことは励みになりました。

### 働きやすさと働きがい

女性が働き続けることが普通となり、企業での働きやすさも改善されてきました。オリックスでは女性管理職の比率も14%\*を超え、若い世代も着実に育ってきています。次の課題は、女性管理職としての働きがいを共有・連携し、女性の役員を増やしていくことです。今後は、グループ内外での世代を超えた女性同士のネットワークづくりなどにも努めたいと考えています。

### PICK UP

### 女性活躍推進をテーマとした東証「なでしこ銘柄」に選定

オリックスでは、男女雇用機会均等法の施行(1986年)以前から、重要な人材戦略の一環として、女性を積極的に登用しており、現在では社員の約4割\*が女性です。2014年3月には、女性人材の活用を積極的に進めている企業として東京証券取引所が選定した「なでしこ銘柄」に選ばれました。女性管理職比率の高さや、女性の社外取締役および執行役を1名ずつ登用している点が特に評価されました。

\* オリックスグループ主要10社の合算



会社概要 (2014年3月31日現在)

会社名 オリックス株式会社 連結会社 701社  
 設立 1964年4月17日 関連会社 92社  
 従業員数(連結) 25,977名 拠点数 国内 1,274拠点 海外 544拠点  
 事業内容 金融サービス業 \*世界36カ国・地域に展開しています。

取締役 (2014年6月24日現在)



社内取締役

- ① 井上 亮
- ② 浦田 晴之
- ③ 馬着 民雄
- ④ 小島 一雄
- ⑤ 山谷 佳之
- ⑥ 亀井 克信
- ⑦ 高橋 秀明

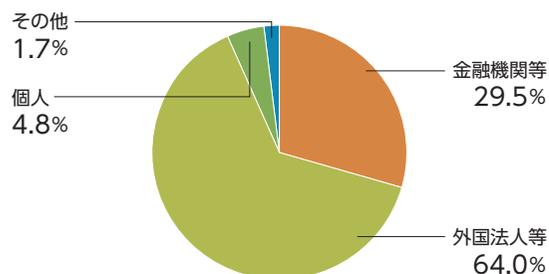
社外取締役

- ⑧ 佐々木 毅
- ⑨ 辻山 栄子
- ⑩ ロバート・フェルドマン
- ⑪ 新浪 剛史
- ⑫ 薄井 信明
- ⑬ 安田 隆二

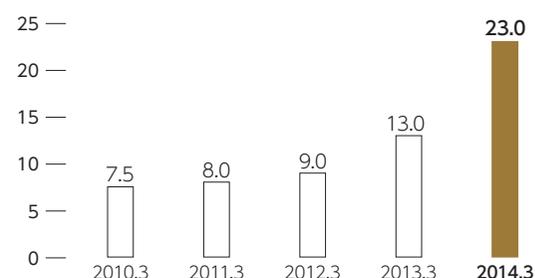
株式情報 (2014年3月31日現在)

発行会社 オリックス株式会社 発行済株式の総数 1,322,777,628株  
 発行可能株式総数 2,590,000,000株 株主数 50,994名

所有者別株主構成比(株式数)



1株当たり配当額の推移(円)



当社は2013年3月31日最終の株主名簿に記載された株主に対して、2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。1株当たり配当額は当該株式分割を考慮し、過年度についても遡及的に調整しています。

株主メモ

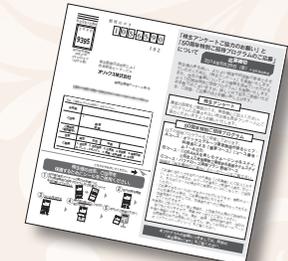
株主名簿管理人  
 三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部  
 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11  
 ☎0120-232-711  
 上場金融商品取引所  
 東京証券取引所市場第1部[8591]  
 ニューヨーク証券取引所[IX]

株式事務に関するお問い合わせ先

株主様の各種お手続き(住所変更、配当金の振込指定、単元未満株式の買取・買増請求など)の窓口については、ご所有の株式が記録されている口座によって異なりますので、ご注意ください。  
 ■ 証券会社に口座を開設されている株主様  
 お取り引き口座のある証券会社にお問い合わせください。  
 ■ 「特別口座」に記載されている株主様  
 当社の口座管理機関(兼 株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部(左記)にお問い合わせください。



株主アンケートと50周年特別ご招待プログラムのご案内



同封の株主アンケートにお答えいただき、ご希望の中から抽選で、「50周年特別ご招待プログラム」にご招待いたします。ご希望のコース(A、B、Cのいずれか)とAコースの場合は施設名を表す数字(例:杉乃井ホテルであればA-1)を必ずご記入ください。数字のご記入がない場合は無効となります。なお、当選発表につきましては当選者の方へのご連絡をもって代えさせていただきます。



**抽選 A コース** オリックスグループ運営施設が誇るシェフ・料理長による **饗宴コース**

- ホテル・旅館でのお食事と宿泊(1泊2食付) **ご招待 2名様24組**
- ゴルフ場でのお食事とゴルフプレー(1ラウンド・食事付) **ご招待 最大4名様20組**
- 春帆楼でのお食事(ふく料理) **ご招待 2名様13組**

**抽選 B コース**

- 1 OSAKAを楽しむクルージング&ステイ **ご招待 2名様3組**
- 2 完全人工光型植物工場見学&高原ホテルステイ **ご招待 2名様4組**

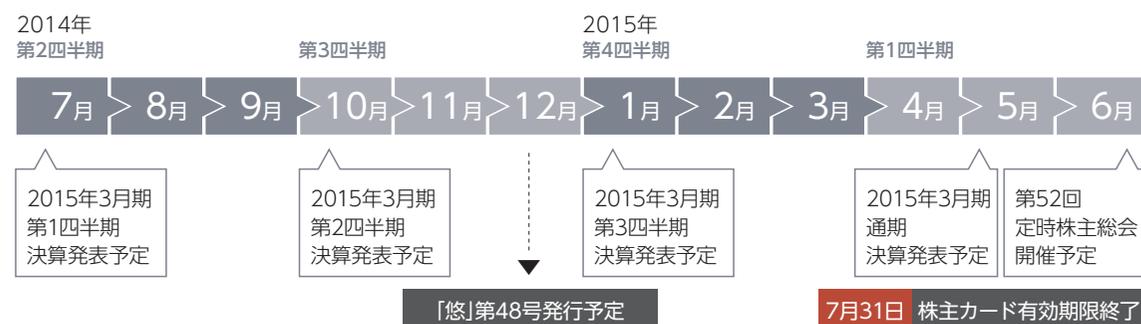
1 リバークルーズで大阪ミナミとベイエリア2つの魅力を満喫。お泊りは人気の「クロスホテル大阪」と「ホテルユニバーサルポート」。9月1日~11月30日(金・土・休前日除く)(2泊3日 夕食2回・朝食2回・昼食1回・クルージング1回)

2 オリックスグループ運営の養父レタス工場を見学後、兵庫県・神鍋高原のブルーリッジホテルでフレンチディナーと癒しのステイ。11月8日(土)(1泊2日 夕食1回・朝食1回・昼食1回)

**抽選 C コース** **バッファローズ満喫プラン野球コース**

①試合前の始球式②ネット裏指定席で試合観戦③マスコットとの記念撮影 **ご招待 株主様含む2名様2組** 時期：9月中旬から下旬 場所：京セラドーム

IRスケジュール (本スケジュールは予定であり、変更になる可能性があります。)



# ORIX BUFFALOES NEWS



オリックス・バファローズ ニュース



日頃よりオリックス・バファローズに熱いご声援をいただき、ありがとうございます！  
開幕ダッシュに成功した勢いをそのままに、18年ぶりとなる貯金19や  
30年ぶりにセ・パ最速で40勝を挙げるなど快進撃を続けるバファローズ。  
「さらにひとつになろう。」というスローガンのもと、ファンの皆様と  
一体となってひとつの夢を目指します！

好調バファローズを牽引する選手たち



## 金子 千尋投手 19

◀ 多彩な変化球と絶妙なコントロールを武器に相手打線を抑え込み、交流戦を終えて123奪三振(1試合平均11.61奪三振)は、12球団トップの数字です。味方の野手が厚い信頼を寄せるバファローズの絶対的エースです。



## 西 勇輝投手 21

▶ 球団新記録となる開幕8連勝を達成。「きっと大丈夫」とつぶやきながら、マウンドで自分を奮い立たせ、チームの勝利に貢献しようとする姿は、エース金子千尋とともに投手陣の柱として頼もしい存在です。



## 糸井 嘉男選手 7

◀ 球界No.1といわれる超人的な身体能力から繰り広げられる高いパフォーマンスに加えて、オールスターファン投票で2年連続最多得票を獲得するなどチーム内外から常に注目されています。交流戦を終え、リーグ首位打者で、盗塁数2位という絶好調の糸井選手がチームをさらに勢いづけます。

この冊子の内容についての  
ご質問、また補足情報をご希望の方は右記まで  
ご連絡ください。

オリックス株式会社 経営企画部 グループ広報部  
〒105-6135 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル  
TEL : 03-3435-3121 FAX : 03-3435-3154  
URL : <http://www.orix.co.jp/grp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

IX  
LISTED  
NYSE